



ひかりのその

明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いします。

「これからの保育園とセツルメントの精神について」

～法人の第三次中期計画進捗状況をもとに～

社会福祉法人雲柱社では、毎年の事業計画に加え、10年間を見据えた中期事業計画を策定しており、2026年は、第三次中期事業計画（期間：2021年4月～2031年3月）の折り返しの年にあたります。

計画当初は、待機児童問題が再燃された背景もあり、当法人でも親子で通園できる「ひろば事業」、「一時保育や休日保育」さらに深夜22時までの「夜間保育事業」など、利用者の多様なニーズに応えるべく事業を拡充してまいりました。しかしながら、コロナ禍の影響により、ゼロ歳児クラスに欠員、待機児童の著しい減少など、保育園事業に大きな打撃を受け、少子化が確実に進行していることを日々痛感しております。

また、急激な人手不足により、法律で定められている職員配置が難しく、各事業所では頭を悩ませています。この人手不足は保育分野にとどまらず、介護や医療分野など様々な産業にも広がり、社会全体の喫緊の課題となっております。

第三次中期事業計画では、5つの課題「ミッションの継承」、「地域福祉の展開」、「組織改革」、「人材開発」、「職場・労働環境の整備」を掲げ、創立者である賀川豊彦の思想と実践の継承、具体化を目指します。彼は、セツルメントの精神の基本として「人格交流」を中心に位置づけておりました。そこで、第三次中期事業計画では、「人格交流」Personality を中心として、「平和」Peace、「共生」Partnership、「開拓」Pioneer をキーワード（4つのP）として、5つの課題に取り組んでまいります。

職員は、平和を愛し、相愛互助に基づく共生社会を構築していくために、人間の尊厳を守りながら自身を変革させ、高みを目指します。そして、子どもたちや保護者、地域の方々等にとって安心安全な保育（支援）を継続して提供できるように努めてまいります。

時代が変わり社会の価値観が大きく変容しても、法人の理念にしたがう我々職員は、賀川豊彦が100年前に実践されたセツルメントの精神を継承し、善き隣人としての行いを心がけて、子どもたちとともに未来に向けて歩んでいくことを願います。

目指すべき社会の理想を次の時代を担う子どもたちに手渡していくために。

お知らせ

避難訓練は日程非公開で行います

<1月の予定>

15日(木) 誕生会

22日(木) 交通安全教室

※21日から変更になりました

26日(月) つばみ組懇談会

27日(火) もも組保育参観・懇談会

28日(水) さくら組保育参観・懇談会

29日(木) たんぽぽ組保育参観・懇談会

30日(金) すみれ組保育参観・懇談会

今月のやまびこはありませんでした

第三者評価保護者アンケートのご協力ありがとうございました。
調査結果は3月以降のご報告となります。

安全計画に基づいて、本所警察の方による不審者対応訓練を行いました。子どもたちも危ない場所や「いかのおすし」についての話を聞きました。

安全バーについて
本園前の安全バーには寄りかからないでください。折れて思わぬ怪我をする場合があります。

さくら組 (1歳児)

新しい年が明け、さくら組の生活も残り3か月になりました。今回は、12月に行われたクリスマス礼拝の様子をお伝えします。

さくら組の子どもたちにとって初めて迎える保育園のクリスマス。イエス様のお話は、子どもたちには少し難しいかな? 雰囲気伝わってくれたらいいなと思っていた担任ですが、始まってみると、とても興味を持ってイエス様誕生のお話を聞いていました。一回目、二回目とアドヴェント礼拝で話を聞いているうちに、だんだん話の内容を覚えたようで、マリア様が登場すると「ママ」、ヨセフ様が登場すると「パパ」と言い、イエスさまが誰かは良く分からなくても、赤ちゃんイエス様の「パパ」と「ママ」であることはわかっているようでした。クリスマス礼拝当日も、クリスマスのお話のパネルシアターを見て、星が登場すると「ぴかぴか」と喜び、ヒツジが登場すると「めえめえ」と、指を差しながら、大好きな動物たちを見つけた喜びを友だちと分かち合っていました。

クリスマスのもう一つのお楽しみと言えば、アドヴェントカレンダーもあります。クラスにある手作りのアドヴェントカレンダーには、もも、さくら組の子どもたちと担任4人の顔写真が貼ってあります。ある日、カレンダーから登場したのは担任の写真でした。その時の子どもたちは何故か「ぼかーん」として反応がありません。「ぜったいに友だちが出てくるはず」と、思い込んでいたので、保育者の写真を見て「なぜ?」と疑問に思ったようでした。しかし数日経つと、子どもたちはアドヴェントカレンダーの保育者の写真を見て「先生だ」と喜んでくれるようになりました(笑)





つぼみ組（0歳児）

久しぶりに登園してきた子どもたちの元気な声で新年🎊がスタートしました！
つぼみ組で過ごすのも、あと3か月！
子どもも大人も笑顔でなんでもウマくいく年を過ごしましょう☆



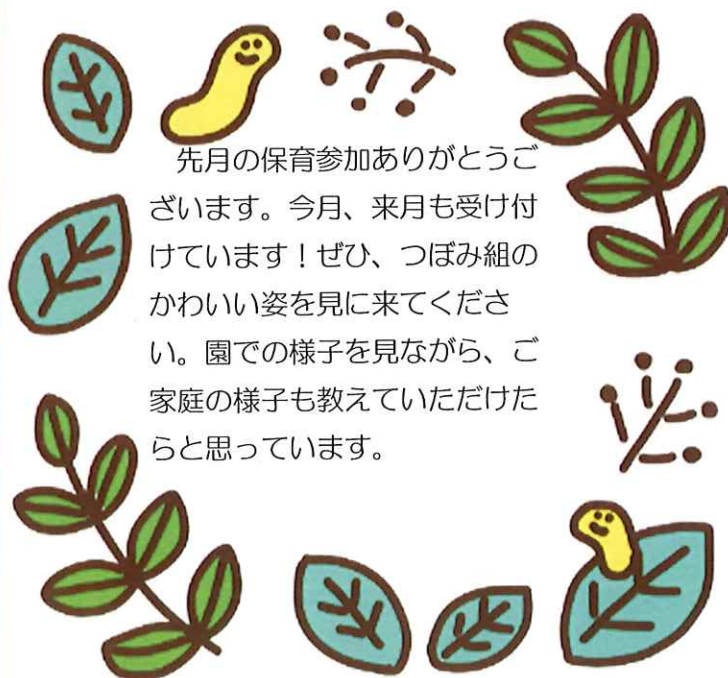
『アドベントカレンダー』

子どもたち一人ひとりの写真と聖誕劇の登場人物のイラストを貼った手作りカレンダーを12月から毎日めくりクリスマスの日を楽しみに待っていました。自分の名前が言えるようになった子どもは「〇〇ちゃん」と喜び、友だちの名前も言えるようになった子どもは「〇〇くーん」と、その子の近くまで行き見比べる姿もありました。名前を言えなくてもカレンダーを指差して“ここにいる”と表現する姿も微笑ましい姿でした。また、めくる時に歌っていた『おほしがひかる』の歌詞に出てくる「ピカピカ」の部分では、手を動かしキラキラさせるのがなんとも可愛いです♡今月もクリスマスの余韻を楽しみながら讃美歌を歌っていきたいです。



『立ち乗りデビュー』

先月からついに低月齢グループ（11月以降生まれの6名）も立ち乗り散歩車で散歩に行くようになりました！しっかりとつかまって立ち、景色を見ている後ろ姿すらも愛おしい✨ねんねで過ごしていたこの子たちが～！と成長を感じずにはられません。慣れてくると隣にいる友だちの顔を見たりするようにもなり、何か以心伝心し合っているような…！こんなこと話しているかな??と保育者同士で想像して話す時間も保育士にしかできない特権なのです♡今月も気候の良い日には、散歩へ行きたくさんの発見を子どもたちと楽しんでいきます。





子ども相撲たんぽぽ・すみれ場所開催！

あけましておめでとうございます！

夏頃から相撲ごっこが人気なたんぽぽ・すみれ組でしたが、子どもたちの成長に伴って、ごっこあそびから段々と本格的な勝負の世界の相撲になりつつある相撲あそびの様子をお伝えします！



相撲が大好きな A さん



お家でもよく相撲を見ているようで、相撲あそびの時もいつも音頭をとってくれます。「はっけよーい^{せんきょ}のときはこうだよ」と^{せんきょ}の姿勢を皆に教えてくれたり、「おなか、ぱーんってたたいて」とお相撲さんが塩を撒く時の手振りを教えてくれます。相撲愛のあるAさんのおかげで保育者の想像よりも相撲あそびが本格的になっています♪

今あそんでいる相撲の約束

- ・マット(土俵)から出たら負け
- ・膝かお尻が地面に着いたら負け

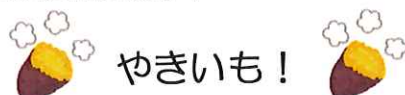


勝負の世界と思いやり

以前は勝った方も負けた方もやったー！と喜んでいましたが、「勝ちたい」という思いが強くなってきた子どもたち。「〇〇ちゃんにはまけちゃうからやらない」と言う姿が出てきました。その中で相撲で負けて大泣きしながら怒っている B さん。「おされた！いたかった！」と主張していますが、相撲で押されるのは当たり前のこと…。周りの子どもから「相撲はそういうあそびだよ」と伝えられてBさんは少しずつ泣き止みました。泣き止んだBさんはもう一度相撲にやってくると合図と共に相手の友だちを思いっきり押し飛ばしました。あまりの勢いに見ていた子どもたちはビックリ。Bさんは「すもうはそういうあそびだから！」と言いました。そこで丁度昼食の時間になってしまいその日の相撲はおしまいになりました。

それから数日後、相撲であそんでいると「やりたい！」と参加したBさん。Bさんはその日の相撲は負けても「またつぎ、がんばるよ！」と何度も笑顔で参加していました。他の子どもたちも相撲というあそびに慣れてきたのか、力加減をしたり遠慮がちに押していた姿から、しっかり組み合う姿に変化してきました！力いっぱい押し合ったり、組み合いながらも、だれも大けがすることなく、その日の相撲はおしまいになりました。たった数日で変化した子どもたちの姿に保育者がビックリしました。





昨年秋のこと。若宮公園へ散歩に行った際、Aさんから「キャンプしたい！」という声がありました。BさんとCさんは集めた落ち葉の近くにしゃがみ何やら話していて、何をしているのか聞くと、「やきいもしてるの!」「さかな焼いてるんだよ!」と言っていました。枝に葉を刺してBBQのようにしていたのです。そんな姿もあり、園庭で火をおこせることを皆に伝えると「やりたい!」と子どもたちは目を輝かせていました。初めて火をおこすということで、今回はさつまいもを焼きました!

Dさんから「枝がいるよね?」という声があったこともあり、若宮公園へ散歩に行った際子どもたちが沢山の枝や落ち葉を拾ってくれました。

そして迎えた焼き芋当日!

部屋でさつまいもに
アルミホイルを巻いて…

焚火をするための穴を掘って…



皆で焼き芋の準備をしました。さつまいもは、子どもたちがお昼寝をしている際に、拾った枝や葉を使って焚火をおこし焼きました。

焚火で焼いた焼き芋はおやつで食べました。そして、部屋ではなく園庭で食べています!美味しかったのか「もうなくなっちゃった!」とあっという間に食べる子ども、苦手だけど少し食べてみる子ども、様々な姿ありましたが、特別感を感じながら味わっていました!

焼き芋を食べている際、自然と「次は何を焼きたいか」という話になり

「ケーキ焼きたい!」「ポテト焼きたい!」「魚焼きたい!」

といった声がありました。何を焼くかは未定ですが…来年には焚火第2弾が計画されると思います!



うわー!
火が出てる!

もも組
(1歳児)

クリスマスの雰囲気を感じながら…

新しい年になりこのクラスで生活するのも、残り僅かとなりましたね。もも組ではアドベントカレンダーをめくることを毎日の楽しみにしていました。
友だちの顔が出てくると、パッと子どもたちの表情も明るくなり「〇〇ちゃんだ！」とニコニコです。
食事中もカレンダーの方を見つめ、「今日は〇〇ちゃんだったね～」と噛み締めるように保育者に話をしていました。「明日は誰かなあ～」と呟く姿を見て、何でもない日常ですが1日1日を楽しみにみんなで過ごすことがこんなにも幸せなのだと改めて実感したのでした。



ばら組
(4歳児)

トウバン(当番)!? ナニソレ? オイシイノ??



食後の掃除…ばら組では誰が掃除をするか、日々争奪戦でした(やりたい人がたくさんいるのは有難いことです!)。ジャンケンや指名、交代と色々な方法で決めていましたが、基本的に【やりたい人が全員やる】方式で、いつしか人が増えすぎ【雑巾が足りなくなる】事態に。。。そのうち気付いた一人の子、「ゆり組に『そうきんとうばん』があった!」…「え!? 何それ?」「とうばんって何??」…なんだか便利そうだけどよく判らない状態が続いた数日後、ゆり組さん数名に説明に来てもらってなんとなくみんな【当番】が理解できたところで、まずは雑巾当番から始めてみることにしました。最初は、当番にノリノリの【つきグループ】! 乗り気すぎて、テラスでの雑巾絞りが水あそびになってしまったことは内緒です。月→チョコミント→リボン…と続き、どのグループも週に1回は当番が回ってきます。少しずつ【当番だけがやる】ことが浸透しつつあるばら組さん、雑巾の前の「ホウキも当番にしたら?」なんて声も聞こえるようになりました。みんなの「やってみたい」を大切にしながら、みんなの為にやる自分たちの役割を意識して、達成感や満足感も味わってほしいと願っています★



ゆり組
(5歳児)

★ゆ・り・さ・ん・ぽ in 錦糸公園★

～やっぱりゆり組! 遠出の散歩も大丈夫!!～

クリスマス礼拝を終えてホッと一息。どこか遠出の散歩をみんなでしたいな～と思い、保育者が「錦糸公園ってみんな行ったことある?」と会話の中で聞いてみると、「オリナスの」となりのこうえんでしょ～?」とAさんとBさんから返ってきました。さらにCさんが「みんなでいきたいな!」と嬉しそうに声をかけてきてあっという間に話が盛り上がり、日にちを決めて行くことにしました。当日の朝は子どもたちも気持ちが高まり、行く前に「みんなで楽しもう! オー!!」と声を掛けて出発しました。道中は会話も弾み30分程で公園に到着しました。アスレチックでは、高さのある“らせん滑り台”をダイナミックに滑ったり“雲梯”を果敢にチャレンジしたり、ブランコあそび・おにごっこなどおもしろい体を動かして満喫する様子がありました。久しぶりの遠出の散歩ということもあり、程よく疲れも出ている中で帰りもしっかりとした足取りで保育園まで帰ってくる姿に成長が垣間見られた瞬間でした! その日に、子どもたちから「またいきたい! ちょ～たのしかったから!」と声が聞かれたので、今後もクラスで企画したいと思っています。

かかったかな？と思ったら

今年度は早い時期からインフルエンザが流行したため、この冬に再びインフルエンザにかかることもあるそうです。感染症のような症状があった時に、一度かかったから、すぐに熱が下がったから、といって受診しないまましていると、何の病気にかかっているのかわからないため、適切な治療が受けられずまた他の人たちにも感染を広めてしまいます。感染症の罹患者が確認された場合は、速やかに皆様にお知らせして流行を沈静化する必要があるため、何らかの感染症が疑われる時は受診をして、診断を受けられましたら必ず園へお知らせください。検査はしなくても身近な人から感染した可能性が高い場合は「みなし感染」とされ検査結果「陽性」と同じ扱いとなりますので、この場合もお知らせください。園では特に感染症には注意しなければならない慢性的な疾患があるお子さんや妊娠している方がいらっしゃいます。体調が悪いときはお休みして必要時は受診されるようお願いいたします。

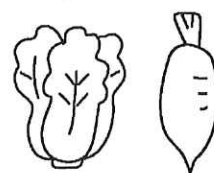


おしょくじ



寒い冬に風邪などの感染症にかかりにくくするには、体を温めることが大切です。服をたくさん上から着るのではなく、バランスの良い食事・血行をよくする食材を取ることを心がけましょう！また旬の冬野菜にも体を温める作用があるとされています。ビタミンやカロテンなどの栄養価を多く含むため、免疫力が高まり、風邪の予防にも効果的です。旬の冬野菜を摂り、体の中から温まりましょう。

- ・大根：胃腸の動きを助けてくれ、豊富に含まれるビタミンCは免疫力を高める働きがあります。
 - ・小松菜：カルシウムを多く含み、鉄分、葉酸、ビタミンC、Aも豊富です。
 - ・長ねぎ：辛み成分は体を温める効果や血液をサラサラにしてくれる効果、殺菌作用、抗酸化作用があります。
 - ・生姜：血行を良くし、一時的に発汗を促す作用があります。お鍋などに入れると体がぽかぽかになります。
 - ・白菜：貯蔵性が高く、ビタミンC・カリウムが豊富に含まれています。
- 冬野菜をたくさん食べて元気に過ごしましょう！



クリスマス献金先



クリスマス献金ありがとうございました。

今年も国境なき医師団や各方面での働きのために、皆様のあたたかいお心を送らせていただきました。

団体名	金額	振込手数料	合計
国境なき医師団日本	10,432	152	10,584
止揚学園(しょうがくえん)	10,000	0	10,000
カリヨン子どもセンター	10,000	152	10,152
合 計	30,432	304	30,736

おひさまぶんこ



学生の頃、長野の雪国の旅館でアルバイトをしていた時のこと。
沖縄の高校生が修学旅行でスキーにやってきました。
日中はピーカンの中スキーに取り組んでいたようです。
夜、私たちアルバイト従業員が夕食会場の大広間の片付けを終えて
ひと息ついた20時過ぎでしょうか、窓の外を見るとちらちらと雪が舞い
はじめていました。
少しすると、歓声と共に旅館の外に飛び出していく高校生たちが
見えました。

「雪だあ！雪が降っているよ！」

(あらあら、こんな時間に外に出て、先生たちに叱られないかしら)
と心配しながらその様子を見てみると、そこにはなんと先生たちもいて
皆で空から降ってくるダイヤモンドに目を輝かせ、こうさぎのように
はしゃぎまわっていたのです。

沖縄気象台の観測開始以降では1977年2月17日と2016年
1月24、25日にみぞれが観測されたのみ。

この高校生たちが長野で降る雪を見たのは1995年頃ですの
うまれてはじめての経験だった子がほとんどだったようです。

さて、その日の仕事を終えて大浴場で汗を流し温泉であたたまって
いると、何人かの高校生たちが(きつとこっそり)2度目の入浴をい
やってきました。

「ああ！雪が降ってるところ、見られて良かったねー」

あったかーい湯舟の中で幸せそうに友と語らっていた彼女たちに
とって、あの日の思い出はどんな風に残っているのでしょうか。

おひさま文庫にも冬や雪にまつわる絵本はたくさんあります。
それらの絵本を広げると、冬や雪の美しさを感じると共に
そこにある寒さや冷たさも伝わってくるのです。
そしてそのほとんどの話の中に、あったかーい登場人物のぬくもりが
あるのです。

それはまるで、あの時の
高校生たちが、肌で感じた
輝く雪と、その後
仲間たちとこっそり入った
湯舟のあたたかさの
ようです。

ぜひ おひさま文庫にある
あたたかい雪国を
さがしにいらして下さい。



Tarumoto

1月のおすすめ絵本

- 。 「はたらきもののじょせつしゃ けいてい」 福音館
文. 絵. バージニア・リー・バー튼 訳. いしいももこ
- 。 「しんせつなともだち」 福音館
作. 方軼羣 (ふあん・いーちゃん) 画. 村山知義
- 。 「ゆきのひ」 偕成社
作. 絵 エズラ ジャック・キーツ 訳. 木島 始
- 。 「バムとケロのさむいあさ」 ふんけい堂
作. 絵 島田 ゆか
- 。 「ゆきのひのうさこちゃん」 福音館
作. 絵 ディック・ブルーナ 訳. いしいももこ



。 お願い



返却期限をお守り下さい



返却時は必ず貸し出しノートに
返却日をご記入下さい



破損や水濡れがあった時は、保育者まで
お声がけ下さい。



1月

0歳児 つぼみ組

- ・ 友だちとあそぶ楽しさを感じて過ごす。

1歳児 もも組・さくら組

- ・ 保育者や友だちと関わり、絵本やごっこあそびを楽しむ。

2歳児 たんぽぽ組・すみれ組

- ・ 簡単なルールのあるあそびを楽しむ。

3歳児 ちゅうりっぷ組

- ・ 正月あそびを知り、楽しむ。
- ・ 友だちとイメージを共有し簡単な劇ごっこを楽しむ。

4歳児 ばら組

- ・ 冬の生活の仕方を知り、寒さに負けず生活する。
- ・ 自分の思いや考えを表し、会話やあそびを通して友だちとの関わりを深める。
- ・ 冬の自然に興味をもち、見たり触れたり確かめたりする。

5歳児 ゆり組

- ・ ルールやあそび方を伝え合いあそびを進めていく。
- ・ 冬の自然に興味関心を持ち、あそびに取り入れていく。